



## 2023年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年4月6日

上場会社名 オーエスジー株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 6136 URL [https://www.osg.co.jp/about\\_us/ir/](https://www.osg.co.jp/about_us/ir/)  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大沢 伸朗  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 川村 淳一 (TEL) 0533-82-1113  
 四半期報告書提出予定日 2023年4月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年11月期第1四半期の連結業績(2022年12月1日～2023年2月28日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年11月期第1四半期	34,231	6.2	4,513	1.6	4,880	1.9	3,050	△11.8
2022年11月期第1四半期	32,241	14.2	4,442	93.3	4,788	97.8	3,459	131.8

(注) 包括利益 2023年11月期第1四半期 2,491百万円(△50.5%) 2022年11月期第1四半期 5,036百万円(34.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年11月期第1四半期	31.86	—
2022年11月期第1四半期	35.53	35.17

(注) 2023年11月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年11月期第1四半期	221,848	175,470	73.8
2022年11月期	228,852	176,838	72.0

(参考) 自己資本 2023年11月期第1四半期 163,634百万円 2022年11月期 164,659百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年11月期	—	23.00	—	37.00	60.00
2023年11月期	—	—	—	—	—
2023年11月期(予想)	—	28.00	—	32.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年11月期の連結業績予想(2022年12月1日～2023年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	68,000	0.1	11,000	11.7	11,000	3.5	7,600	1.4	79.40
通期	145,000	1.7	24,000	9.6	24,000	1.5	16,200	△2.0	169.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年11月期 1 Q	99,182,517株	2022年11月期	99,182,517株
② 期末自己株式数	2023年11月期 1 Q	3,416,271株	2022年11月期	3,513,523株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年11月期 1 Q	95,720,420株	2022年11月期 1 Q	97,364,811株

(注) 期末自己株式数には、オーエスジー社員持株会専用信託が保有する当社株式を含めております (2022年11月期 239,300株、2023年11月期第1四半期140,700株)。また、同信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております (2022年11月期第1四半期445,475株、2023年11月期第1四半期187,500株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は四半期決算補足説明資料を作成しており、決算発表後一週間以内に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
(4) 販売の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済環境は、世界的なインフレと金融引き締めによる内需の減少に加え、新型コロナウイルス感染拡大による中国経済の失速により緩やかな減速基調となりました。また、ウクライナ情勢や米中対立など、地政学リスクへの警戒感を引き続き高く、経済への悪影響が想定されます。一方で為替市場における主要通貨の動きは、極端な円安こそ昨年の10月頃をピークに落ち着きを見せましたが、前年同期と比較して米ドル、ユーロ及び中国元ともに円安で推移しました。

当社グループにおいては地域によってははっきりと明暗が分かれた結果となりました。米州及び欧州・アフリカにおいては為替換算の影響もあり前年同期と比較して堅調に推移しましたが、中国、台湾を中心とするアジア圏は厳しい結果となりました。

以上の結果、売上高は34,231百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益は4,513百万円（前年同期比1.6%増）、経常利益は4,880百万円（前年同期比1.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,050百万円（前年同期比11.8%減）となりました。また、海外売上高比率は円安の追い風もあり、前年同期と比較して増加し65.9%（前年同期は64.2%）となっております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

総資産は、前期末と比較して7,003百万円減少し、221,848百万円となりました。これは主に、商品及び製品が2,121百万円増加した一方で、現金及び預金が5,473百万円、仕掛品が1,117百万円、受取手形及び売掛金が1,046百万円減少したことによるものであります。

#### (負債)

負債は、前期末と比較して5,636百万円減少し、46,377百万円となりました。これは主に、未払法人税等が1,033百万円、賞与支払いにより未払費用（流動負債 その他）が減少したことによるものであります。

#### (純資産)

純資産は、前期末と比較して1,367百万円減少し、175,470百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が660百万円、利益剰余金が507百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は73.8%（前期末は72.0%）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月期の第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想については、2023年1月12日発表の予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	46,697	41,223
受取手形及び売掛金	26,885	25,839
有価証券	0	1
商品及び製品	33,238	35,360
仕掛品	8,641	7,523
原材料及び貯蔵品	10,146	10,242
その他	3,731	4,223
貸倒引当金	△374	△648
流動資産合計	128,967	123,766
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,712	24,264
機械装置及び運搬具（純額）	34,739	35,294
土地	16,006	15,917
その他（純額）	5,604	5,447
有形固定資産合計	81,062	80,924
無形固定資産		
のれん	4,402	3,992
その他	1,396	1,446
無形固定資産合計	5,799	5,439
投資その他の資産		
投資有価証券	4,800	4,910
その他	8,666	7,134
貸倒引当金	△443	△326
投資その他の資産合計	13,023	11,718
固定資産合計	99,885	98,082
資産合計	228,852	221,848

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,887	5,208
短期借入金	677	603
1年内返済予定の長期借入金	1,019	1,977
未払法人税等	3,105	2,071
賞与引当金	612	1,672
役員賞与引当金	371	123
その他	12,091	8,158
流動負債合計	23,765	19,815
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	18,873	17,325
退職給付に係る負債	879	884
債務保証損失引当金	185	186
その他	3,310	3,164
固定負債合計	28,248	26,562
負債合計	52,014	46,377
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,044	13,044
資本剰余金	13,792	13,618
利益剰余金	132,320	131,812
自己株式	△6,388	△6,194
株主資本合計	152,768	152,281
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	852	975
繰延ヘッジ損益	0	-
為替換算調整勘定	11,038	10,378
その他の包括利益累計額合計	11,890	11,353
非支配株主持分	12,178	11,836
純資産合計	176,838	175,470
負債純資産合計	228,852	221,848

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)
売上高	32,241	34,231
売上原価	19,228	20,093
売上総利益	13,012	14,137
販売費及び一般管理費	8,570	9,623
営業利益	4,442	4,513
営業外収益		
受取利息	67	145
受取配当金	14	21
為替差益	88	28
補助金及び助成金	90	141
その他	267	176
営業外収益合計	528	514
営業外費用		
支払利息	59	71
その他	122	76
営業外費用合計	181	147
経常利益	4,788	4,880
特別利益		
関係会社出資金売却益	-	159
特別利益合計	-	159
特別損失		
貸倒引当金繰入額	-	290
特別損失合計	-	290
税金等調整前四半期純利益	4,788	4,750
法人税、住民税及び事業税	1,598	1,612
法人税等調整額	△408	△9
法人税等合計	1,190	1,603
四半期純利益	3,598	3,147
非支配株主に帰属する四半期純利益	138	96
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,459	3,050

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)
四半期純利益	3,598	3,147
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△88	99
繰延ヘッジ損益	△4	△0
為替換算調整勘定	1,532	△756
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	2
その他の包括利益合計	1,438	△655
四半期包括利益	5,036	2,491
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,864	2,542
非支配株主に係る四半期包括利益	171	△50



### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結会計期間より、PRIMCOAT PVD TECHNOLOGY INDIA PVT, LTD.を重要性が増したため連結の範囲に含めた結果、期首の資本剰余金が173百万円減少しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社は、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響の収束時期等を含む仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

(従業員等に信託を通じて当社の株式を交付する取引)

当社は、当社従業員に対する当社の中長期的な企業価値向上へのインセンティブの付与を目的として、従業員持株会に信託を通じて当社の株式を交付する取引を行っております。

#### 1 取引の概要

当社は、「オーエスジー社員持株会」(以下、「持株会」という。)に加入するすべての従業員を受益者とする「オーエスジー社員持株会専用信託」(以下、「従持信託」という。)を設定いたしました。従持信託は、5年間にわたり持株会が取得すると見込まれる数の当社株式を取得し、持株会に売却を行うものであります。信託終了時に、株価の上昇により譲渡利益等が生じた場合には、受益者適格要件を満たす者に分配されます。株価の下落により譲渡損失等が生じ信託財産に係る債務が残る場合には、金銭消費貸借契約の保証事項に基づき、当社が銀行に対して一括して弁済することになっております。

#### 2 信託に残存する当社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度477百万円、239,300株、当第1四半期連結会計期間280百万円、140,700株であります。

#### 3 総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

前連結会計年度548百万円、当第1四半期連結会計期間352百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年12月1日 至 2022年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	欧州・ アフリカ	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,686	5,575	6,400	8,578	32,241	—	32,241
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,334	289	53	854	6,532	△6,532	—
計	17,021	5,864	6,454	9,433	38,773	△6,532	32,241
セグメント利益	1,750	907	558	1,534	4,750	△308	4,442

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更が報告セグメントの売上高及びセグメント利益へ与える影響は軽微であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	欧州・ アフリカ	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,995	7,158	7,618	7,459	34,231	—	34,231
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,903	131	49	995	7,079	△7,079	—
計	17,899	7,289	7,667	8,454	41,310	△7,079	34,231
セグメント利益	2,073	1,100	718	950	4,843	△329	4,513

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (4) 販売の状況

(単位：百万円)

品 目 別		前第1四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)
切削工具	ねじ切り工具	11,397	11,276
	ミーリングカッター	5,844	6,685
	その他切削工具	9,162	9,800
	計	26,404	27,763
転造工具		2,377	2,551
測定工具		449	457
その他	機械	783	1,320
	その他	2,227	2,139
	計	3,010	3,459
合 計		32,241	34,231